

# 木之本小学校からの報告

## 「みずすまし」水生生物調査結果表

調査場所名 ( No. )		意富布良神社南側 No.1				No.2				No.3										
月	日	時	刻	6月7日 15時00分																
天		気		晴れ																
水		温 ( °C )		20.6 °C																
気		温 ( °C )		26.2 °C																
川		幅 ( m )		1.5 m																
河		川		名				用水路(赤川の支流)												
生		物		を				採				取								
採		取		し				た				場								
場		所		全				面												
水		深 ( cm )		20.0 cm																
流		速 ( cm / s )		30.0 cm/s																
水		の		よう				す												
				指				標				生								
				物																
I きれい	1	カワゲラ類																		
	2	ナカレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類																		
	3	ヒラタケロウ類			○															
	4	ブユ類																		
	5	ヘビトンボ類																		
	6	ガガンボ類																		
	7	サワガニ			●															
I・II 共通	8	ウスムシ類																		
	9	2以外のトビケラ類																		
	10	3、14以外のカゲロウ類																		
II 少しよごれている	11	ヒラ外ロムシ類																		
	12	シジミ類			○															
II・III 共通	13	カワニナ			●															
III よごれている	14	サホコカゲロウ																		
	15	ヒル類			○															
	16	ミスムシ			○															
	17	モノアラガイ																		
III・IV 共通	18	サカマキガイ																		
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ																		
	20	イトミミズ類																		
	21	ハナアブ類																		
水 質 判 定 表	水			の			区			分										
				I			II			III			IV							
	1	み			つ			か			っ			た			指			
				2			2			3						標				
				3			4			5			6			生				
2	み			つ			か			っ			た			指				
			1			1			1						標					
			2			2			2			2			生					
			3			3			3			3			物					
合			計			(			1			欄			+					
			2			欄									)					
判			定			結			果			(			合					
			計			が			最			も			大					
			き			い			区			分			)					
表			III																	

## 調査考察、活動内容等

今年度、木之本小学校は、水生生物の調査を理科クラブから環境委員会に変更し、5年生5名・6年生5名の計10名で活動しました。

本校は、田上山麓の斜面に位置し、学校の周辺には、ゆるやかに流れる河川は少ないです。唯一、田上山の谷間から流れ出る細い川（赤川の支流）があります。その支流は、本校から徒歩で5分ほどのところ、伊香高等学校の校門のすぐ前を流れていて、過去に何度も調査していました。しかし、ここ数年の天候の影響により、川の水流がほとんどなく、観察不可の状況でした。



2020年に、本校と杉野小学校が統合され、子どもたちが調査できる場所を再考しました。例年の活動場所である学校近くの意富良神社前を流れる用水路（赤川の支流）と北部地域振興局東側の水路、学校から自転車で10分ほどの黒田集落内の河川のうち、活動時間の確保と調査道具をもって移動できる場所を条件に話し合った結果、意富良神社前を流れる用水路（赤川の支流）を、今年度からの調査地点にしました。

### 〈子どもたちの考えた予想〉

子どもたちは、「神社前」の水質階級は「Ⅰ」のきれいだと予想しました。予想した理由として、下記の3つがあります。

- ① 以前の活動結果「水質階級Ⅰ」を考慮した。
- ② 見た目がきれいだから。
- ③ いつも遊んでいるところで、神社はごみが少ないと思うから。

これら以外にも、5月ごろに行ったごみゼロ活動で、ほとんどごみがなかったことなどの理由が挙げられました。

**調査日 6月7日（月）15：00～15：50**

#### ○調査場所

意富良神社前を流れる用水路（赤川の支流）



この川は、意富良神社の南側地点を東西に流れる用水路（赤川の支流）です。

今年度の調査地点は、川幅約1.5m、水深約15～25cm、流速30cm/秒程度の小さな川です。川の両側がコンクリートで固められており、天候によっては濁水することもあります。調査日には水流が見られ、水温20.6℃でした。

川では、様々な指標生物を見つけることができました。水質階級「Ⅰ」のサワガ

ニヤヒラタカゲロウ類、「Ⅱ」のシジミ類、「ⅡⅢ」のカワニナ、その他としてコシマアメンボやヤゴ類など、多く観察することができました。水質階級「Ⅰ」のサワガニが多くとれた一方で、水質階級「Ⅲ」のヒル類やミズムシも見られ、結果的に水質階級「Ⅲ」となりました。以前の調査（2016～2019年）では、水質階級「Ⅰ」だった地点が、今年の調査（2021年）では水質階級「Ⅲ」となり、川が汚れてきていることがわかりました。



#### 環境日記（5年・女兒）

サワガニがたくさんいて良かったです。この水はきれいだなと思いました。でも、ヒルやミズムシも多くとれました。においがなく、きれいに見える川だけど、ヒルやミズムシがいるのが不思議でした。

#### 環境日記（6年・男児）

みずすましをして、見たことのない生き物や知っている生き物がたくさんみつかることができました。身近にある川で、いろいろな生き物がいてうれしかったし、たくさんを知れてよかったです。ただ、ヒルがいたので、ちょっときたなかったです。

## 調査を終えて

例年3地点での調査場所を1か所に変更しました。そのため、異なる河川の比較ではなく、1か所の河川の経年変化を考察しました。

- ① 見た目が綺麗な川でも、生物指標によると、実際のきれいさがわかり、水生生物調査の意義を実感できました。また、川の中にはいろいろな生物がすみ、それぞれに名前があることにびっくりしていました。水生生物の調査を継続することにより、川の水質の変化や前後の天候によって影響されることがわかり、子どもたちは興味を持って取り組みました。
- ② 今回の調査地点は、過去5年間では水質階級「Ⅰ」でした。しかし、現在は水質階級「Ⅲ」に変化しました。この変化に児童たちは、3つの予想を立てました。
  1. 赤川上流にある貯水池の影響です。池周辺の雑草や池の洗い出しなどができていなかったため、汚い水が下流へ流れ出たのかもしれませんが。
  2. 田上山の環境悪化です。田上山の環境（森林や土壌など）が悪くなっていまい、雨水がろ過することができなかったのかもしれませんが。
  3. ごみのポイ捨てです。川や貯水池、その周辺にごみを捨てられたため、その影響が長い時間をかけて川を汚くしているのかもしれませんが。

今後は、調査の結果を踏まえて、環境委員会の取組から各学年・全校への取組に広がるよう、ポスターや調査結果などを掲示し、働きかけていきたいです。水質の観点から言えば、同地点の継続観察をし、水環境の変化に目を向けさせることも大切な学習であると感じました。

